



みなみおか

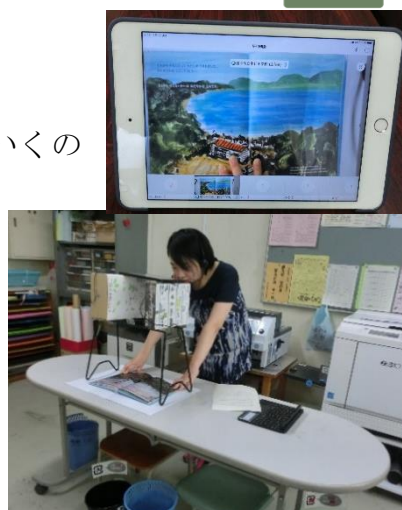
第15号
2020.9.28
発行



8月～9月にかけて 「平和」について考えました。

本校では、毎年5月に6年生が広島へ修学旅行に行くので、5月の中旬に「平和学習週間」を設け、6年生が平和について調べたことを発表したり、全校で鶴を折ったり、戦争のパネルを見たり、絵本やビデオで学習をします。今年度は修学旅行が中止となったのですが、8月6日（広島に原爆を落とされた日）が登校となったので、8月～9月にかけてどの学年も「平和」について学ぶことにしました。

8月3日には、加治先生の朗読による絵本「8月6日」の読み聞かせ、8月6日は、6年生の平和学習で作成した新聞の紹介・校長による広島原爆投下について話、最後にみんなで「折り鶴」の歌を合唱しました。廊下には、きれいな歌声が静かに響いていました。9月8日～15日の間、多目的室には「忘れてはいけない戦争の恐ろしさ～大阪に残る戦争の傷跡～」のパネルが展示してあり、それを見学した後、低学年は「とびうおのぼうやはびょうきです」高学年は「消え去らぬ傷あと 火の海 大阪」のDVDを鑑賞しました。世界で唯一の被爆国である日本に住む子どもたちには、原爆の恐ろしさや戦争の悲惨さをしっかりと学んで二度と戦争が起こらないように平和についてこれからも学んでほしいと思っています。



6年生が自分たちで調べ作成した新聞について発表しています。(6年総合的な学習の時間の授業)

○そうがかわいそうでした。そうのかかりのひともつらかったとおもいました。ごはんをたべさせてもらえなくて、そうもつらかったとおもいました。(1年生児童「かわいそうなそう」を読んで)

○人だけでなく、動物も原子ばくだんでなくなってしまうました。こんな人の行動を、とてもぼくはおこっています。ぼくはこんなことがおこらないようにと、国

がなかよくする方ほうをその時に考えていれば、こんなぎせいしゃがでなかったとおもいます。これからはせんそうしないように国とくにがなかよくするといひ。日本でせんそうでなくなった人が原子ばくだんのこわさを知らせてくれたから、そのいのちをむだにするわけにはいかない。(3年生児童)

○大阪にも空襲や戦争の跡などがたくさんあることを知らなかった。あの時代に生まれなくて良かったと思いつつ、ビデオを見たり新聞を作ったりしたことで、戦争の苦しみがわかった。(6年生児童)



新しく着任された教職員を紹介します！

(着任順・敬称略)



5月以降、着任された教職員について紹介します。児童のみなさんには紹介済みですが、新たな職の新設も含め紹介します。教職員の働き方改革に伴い業務の軽減を図るためのサポートや、今回のコロナ感染症対策の一つとして教育環境を清潔に保つための施設の消毒等に当たっていただく業務、子どもたちの学習や生活の支援にあたる学生サポーターの増員など、たくさんの支援をいただくことができています。学生サポーターについては今後増員する予定です。(手伝っていただける学生の方がおられましたらご紹介ください)

- 大谷 光子 非常勤講師：週に10時間、2年生の音楽、3年生・5年生の算数の授業を受け持っています。
- 関 萌々恵 スクールサポーター：週に1日、子どもたちの学習や生活の支援にあたっています。
- 福島 妙子 業務サポートスタッフ・スクールサポーター：週に3日、学校業務のサポートや子どもたちの学習や生活の支援にあたっています。
- 馬場 裕子 用務員：五十川瑠美用務員の産休に伴い用務の仕事にあたっています。
- 坂口佐江子 給食従事員：福田美由紀給食従事員の退職に伴い、給食の仕事にあたっています。
- 河中沙弥佳 スクールサポートスタッフ：感染症対策のため、学校施設の消毒等の業務にあたっています。
- 舛屋 剛 非常勤講師：週に3日、6年生の理科の授業を受け持っています。
- 北村 晶子 育児休業任期付講師：安藤大輔教諭の育児休業に伴い、支援学級の担任として授業を受け持っています。
- 松原 奈緒 非常勤講師：週に3時間、1年4組担任の豊恵梨子教諭の体育軽減のため、体育の授業を受け持っています。